

分野：② ⑦ ⑫

「 プラスチックの問題 」

環境アドバイザー

上領 園子

対象

ゆずの里ケーブルテレビ契約家族
役場内フロアーで見た人

所要時間



15分

場所

ゆずの里ケーブルテレビ

実施時期

令和3年8月1日～
8月31日

概要

先月に引き続きペットボトルの問題から、資源回収に出せるもの出せないもの回収されないペットボトルの行方、プラスチック全体の問題
不始末なプラスチックが海洋汚染をまねている。生態系への影響
今、私たちにできる事

プログラムの
ねらい

プラスチックを安易に使い過ぎていること
そのことが地球温暖化を招き海洋汚染や健康被害、生物の多様性を脅かす原因となっており、経済的にも損失であることを理解してもらうこと

プログラムの内容

- ・ 8月1日から31日まで毎日午後3時から（15分）
- ・ 8月1日から31日まで毎日午後9時15分から（15分）
- 1 資源として出せるペットボトル
- 2 ペットボトルを違う角度から見よう
- 3 温暖化対策として健康のため町の財政負担軽減のためペットボトル利用を止める時ではないか
- 4 ポイ捨てされたペットボトル
- 5 プラスチック全体の問題
- 6 その他容器包装プラスチックにどんなものを出していますか。
- 7 不始末なプラスチック・側溝に捨てられたたばこの吸い殻、それらは川を下って海へ
- 8 海洋汚染と生物多様性の危機
- 9 プラスチック規制世界の動き日本の現状
- 10 日本はプラスチックごみ排出量世界第2位
- 11 今私たちにできる事

受講者の反応

何度も繰り返し放映されているのがいい。

内容については地球規模の話と我が町の現状の両方を語っている点、最後にいま私たちにできる事を取り上げている点がとてもいいと思いました。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

先月に引き続きペットボトルの問題から

- ペットボトルを資源回収に出せるのはこのマークがついているものだけです。
- キャップとラベルを外して
- 中をすすいで
- 水をよく切って潰して出します。
- 飲み残しなどがあれば資源になりません。
- キャップとラベルは、その他容器包装プラスチック（その他プラ）として出します。
- 塩ビボトルやマークのないボトル、それにポリエチレンやポリプロピレンのボトルは一緒に入れられません。



防災公園草刈り後に現れた
ペットボトル



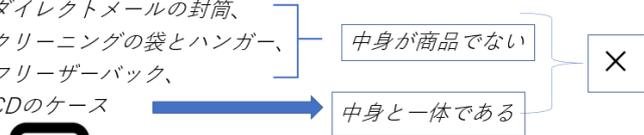
3、中身が商品であること

ダイレクトメールの封筒、
クリーニングの袋とハンガー、
フリーザーバック、
CDのケース

中身が商品でない

中身と一体である

×



マークの付いたチューブ類やボトル類は中身を
出し切ってすすいで出す、無理な場合は可燃ごみに。

- これらプラスチックも原材料は石油です。2050年二酸化炭素の排出ゼロに向かって止めていかなくてはなりません。

以上のことからいま私たちに今できる事は

- 使い捨てプラスチックは買わない、貰わない
- 繰り返し使える瓶の製品を買う
- マイボトル、マイバックを持参する
- 使い捨てストローやナイフ、フォークを使わない
- ばら売りや簡易包装のものを買う
- プラスチック飲料を避ける。
- イベントでリユース食器や再生可能な素材の食器を使用する。